

福岡市公報 第6986号（別冊）

令和4年度 下半期

業務状況の説明

（公営企業会計）

福岡市モーターボート競走事業の設置等に関する条例第8条第4項の規定により、令和4年度下半期（令和4年10月1日から令和5年3月31日まで）における本市モーターボート競走事業の業務状況を次のように公表する。

令和5年8月31日

福岡市長 高 島 宗 一 郎

福岡市モーターボート競走事業の令和4年度下半期の業務状況
(第14回公表)

目 次

	ページ
1 概 況	1
2 事 業 報 告 書	2
3 損 益 計 算 書	3
4 貸 借 対 照 表	3
5 企業債及び一時借入金の現在高	3

1 概況

令和4年度下半期の開催日数は92日（前年同期比6日減）、入場者数が172,662人（1日平均1,877人）で、前年度同期と比べ9.9パーセントの減（1日平均4.0パーセントの減）となっております。

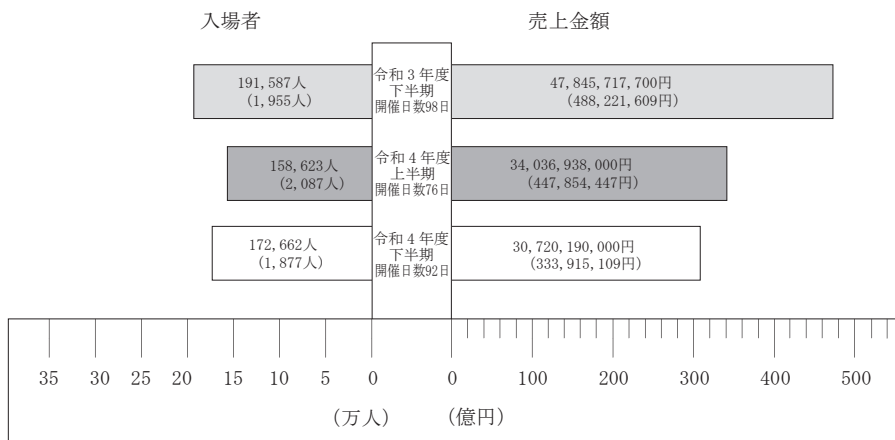
売上金額は、30,720,190,000円（1日平均333,915,109円）で、前年度同期と比べ35.8パーセントの減（1日平均31.6パーセントの減）となっております。

令和4年度下半期の入場者数や売上金額が減少した要因としましては、売上額が大きいSGレースやPG I レースの開催がなかったこと等が挙げられます。

また、場間場外発売については、場内売上が1,623,626,200円、外向発売所（ペラボート福岡）売上が5,432,474,600円、合計7,056,100,800円で、前年度同期と比べ10.1パーセントの減となっております。

2 事業報告書

入場者及び売上金額 () は1日平均



3 損益計算書（令和4年10月1日から令和5年3月31日まで）

（単位：千円）

区 分	金 額
総 収 益 (A)	35,492,448
営 業 収 益	35,470,292
営 業 外 収 益	22,156
総 費 用 (B)	35,438,377
営 業 費 用	34,662,677
営 業 外 費 用	775,700
差引損益(A)－(B)	54,071

4 貸借対照表（令和5年3月31日現在）

（単位：千円）

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	23,282,699	固定負債	350,143
流動資産	22,050,851	流動負債	2,081,625
		繰延収益	354,596
		資本金	27,247,785
		剰余金	15,299,401
計	45,333,550	計	45,333,550

5 企業債及び一時借入金の現在高（令和5年3月31日現在）

(1) 企業債の現在高

なし

(2) 一時借入金の現在高

なし

福岡市下水道事業の設置等に関する条例第8条第4項の規定により、令和4年度下半期（令和4年10月1日から令和5年3月31日まで）における本市下水道事業の業務状況を次のように公表する。

令和5年8月31日

福岡市長 高 島 宗 一 郎

福岡市下水道事業の令和4年度下半期の業務状況

(第74回公表)

目 次

	ページ
1 概 況	4
2 事業報告書	4
3 損益計算書	5
4 貸借対照表	5
5 企業債及び一時借入金の現在高	5

1 概況

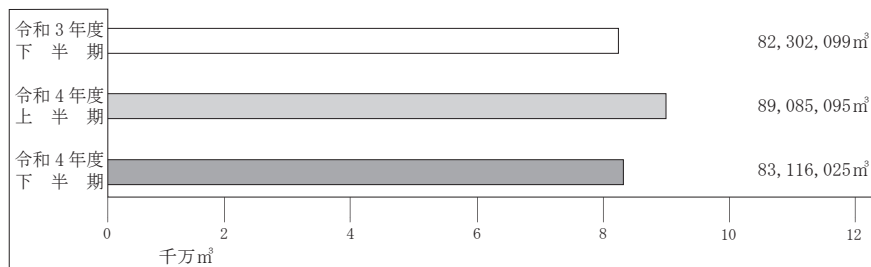
下水道事業では、令和4年度下半期もアセットマネジメントに基づく改築更新を最重点として事業を実施してまいりました。また、重点地区を定め雨水対策を行う「雨水整備Dプラン2026」及び雨水対策を強化した「レインボープラン天神」に基づく整備を推進するとともに、下水道施設の耐震化も進めてまいりました。

また、公共用水域の水質保全のため、合流式下水道の改善（分流化）などを進めるとともに、下水道資源の有効活用を図るため、再生水利用下水道事業を推進してまいりました。

今後とも、市民の皆様が下水道サービスを安定的・継続的に利用でき、快適で安心して暮らせますよう、適正かつ効率的な事業運営に取り組んでまいります。

2 事業報告書

処理水量



※場内循環水を含む。

3 損益計算書（令和4年10月1日から令和5年3月31日まで）

（単位：千円）

区 分	金 額
総 収 益 (A)	27,180,844
営業収益	21,885,678
営業外収益	5,216,082
特別利益	79,084
総 費 用 (B)	26,560,305
営業費用	24,133,899
営業外費用	2,423,592
特別損失	2,814
差引損益(A)－(B)	620,539

4 貸借対照表（令和5年3月31日現在）

（単位：千円）

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	760,655,635	固定負債	295,776,858
流動資産	27,600,955	流動負債	41,829,027
		繰延収益	214,669,762
		資本金	163,636,955
		剰余金	72,343,988
計	788,256,590	計	788,256,590

5 企業債及び一時借入金の現在高（令和5年3月31日現在）

(1) 企業債の現在高

（単位：百万円）

令 和 4 年 度 上半期末現在高	令和4年度下半期		令 和 4 年 度 末 現 在 高
	発 行 額	償 還 額	
321,033	16,285	15,943	321,375

(2) 一時借入金の現在高

なし

福岡市水道事業の設置等に関する条例第8条第4項の規定により、令和4年度下半期（令和4年10月1日から令和5年3月31日まで）における本市水道事業の業務状況を次のように公表する。

令和5年8月31日

福岡市長 高 島 宗 一 郎

福岡市水道事業の令和4年度下半期の業務状況
(第141回公表)

目 次

	ページ
1 概 況	6
2 事業報告書	7
3 損益計算書	8
4 貸借対照表	8
5 企業債及び一時借入金の現在高	8

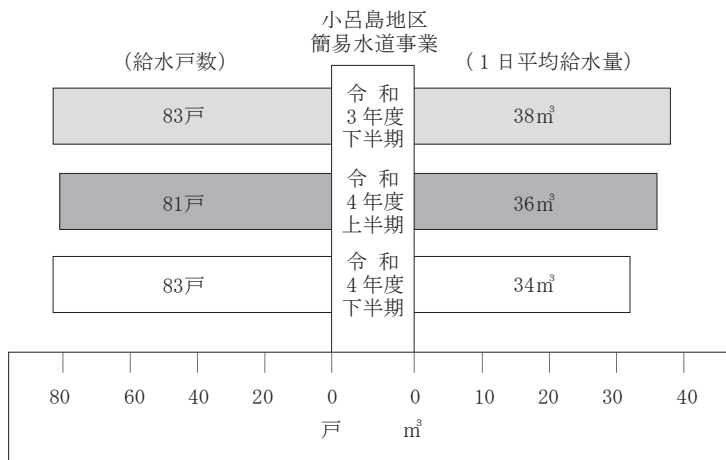
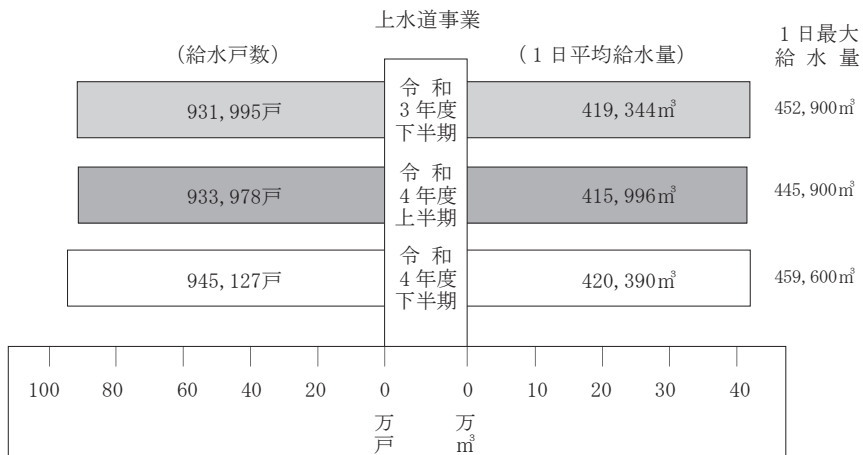
1 概況

令和4年度下半期も「福岡市水道長期ビジョン2028」に基づく水の安定供給に向けた計画的な施設整備等の各施策を着実に実施してまいりました。

今後とも、「みなさまから信頼される水道」の実現に向け、安全で良質な水の安定供給に努めるとともに、企業債残高の縮減など、経営の効率化と財政の健全化に取り組んでまいります。

2 事業報告書

給水状況



3 損益計算書（令和4年10月1日から令和5年3月31日まで）

（単位：千円）

区 分	金 額
総 収 益 (A)	18,354,979
営 業 収 益	15,915,686
営 業 外 収 益	2,438,856
特 別 利 益	437
総 費 用 (B)	17,180,019
営 業 費 用	16,426,636
営 業 外 費 用	751,453
特 別 損 失	1,930
差引損益(A)－(B)	1,174,960

4 貸借対照表（令和5年3月31日現在）

（単位：千円）

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	372,378,669	固定負債	101,612,331
流動資産	23,705,507	流動負債	18,751,381
		繰延収益	59,864,712
		資本金	204,467,349
		剰余金	11,388,403
計	396,084,176	計	396,084,176

5 企業債及び一時借入金の現在高（令和5年3月31日現在）

(1) 企業債の現在高

（単位：百万円）

令 和 4 年 度 上半期末現在高	令 和 4 年 度 下 半 期		令 和 4 年 度 末 現 在 高
	発 行 額	償 還 額	
101,089	7,635	3,888	104,836

(2) 一時借入金の現在高

なし

福岡市水道事業の設置等に関する条例第8条第4項の規定により、令和4年度下半期（令和4年10月1日から令和5年3月31日まで）における本市工業用水道事業の業務状況を次のように公表する。

令和5年8月31日

福岡市長 高 島 宗 一 郎

福岡市工業用水道事業の令和4年度下半期の業務状況
(第116回公表)

目 次

	ページ
1 概 況	9
2 事業報告書	9
3 損益計算書	10
4 貸借対照表	10
5 企業債及び一時借入金の現在高	10

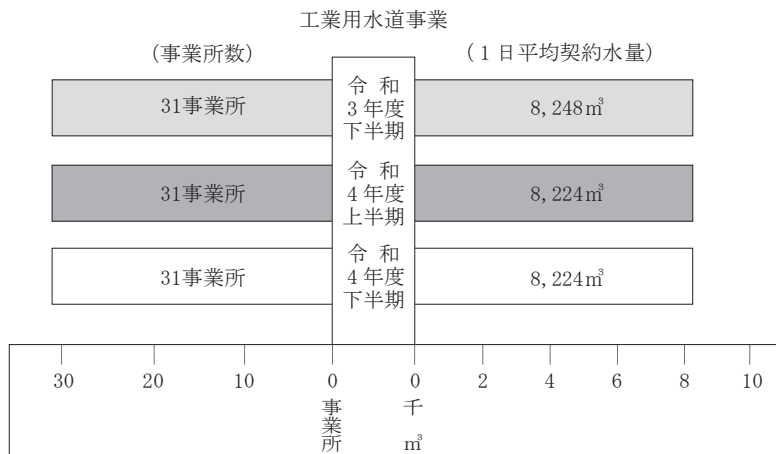
1 概況

令和4年度下半期も「福岡市工業用水道長期ビジョン2028」に基づく安定供給と安定経営の持続に向けた各施策を着実に実施してまいりました。

今後とも、「産業と暮らしを支える工業用水道を次世代へ」健全な形で確実に引き継いでいけるよう、各施策を着実に実施してまいります。

2 事業報告書

給水状況



3 損益計算書（令和4年10月1日から令和5年3月31日まで）

（単位：千円）

区 分	金 額
総 収 益 (A)	107,678
営業収益	103,836
営業外収益	3,842
総 費 用 (B)	127,767
営業費用	122,966
営業外費用	4,801
差引損益(A)－(B)	△ 20,089

4 貸借対照表（令和5年3月31日現在）

（単位：千円）

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	3,491,207	固定負債	2,461,599
流動資産	811,011	流動負債	336,241
		繰延収益	364,353
		資本金	578,167
		剰余金	561,858
計	4,302,218	計	4,302,218

5 企業債及び一時借入金の現在高（令和5年3月31日現在）

(1) 企業債の現在高

（単位：百万円）

令和4年度 上半期末現在高	令和4年度下半期		令和4年度末 現在高
	発行額	償還額	
1,883	718	21	2,580

(2) 一時借入金の現在高

なし

福岡市交通事業の設置等に関する条例第8条第4項の規定により、令和4年度下半期（令和4年10月1日から令和5年3月31日まで）における本市高速鉄道事業の業務状況を次のように公表する。

令和5年8月31日

福岡市長 高 島 宗 一 郎

福岡市高速鉄道事業の令和4年度下半期の業務状況
(第98回公表)

目 次

	ページ
1 概 況	11
2 事業報告書	12
3 損益計算書	12
4 貸借対照表	13
5 企業債及び一時借入金の現在高	13

1 概況

令和4年度下半期における輸送人員は、定期の利用者が36,156,060人（1日平均198,660人）、定期外の利用者が39,088,640人（1日平均214,773人）の計75,244,700人（1日平均413,433人）で、前年度同期と比べ、11,569,081人（18.17%）の増加となっております。

七隈線延伸事業について、安全対策に万全を期しながら事業を推進し、令和5年3月27日に開業しました。

増客増収の取組みとして、地下鉄を利用した周遊イベントや沿線施設と連携したイベントの実施など、沿線の魅力や地下鉄の利便性のPRを積極的に推進するとともに、広告の販売促進やお客様ニーズに対応した新規店舗の誘致及び既存店舗区画の事業者公募など駅空間の有効活用、収益向上に取り組んでまいりました。

また、営業線改良事業では、施設や車両等の健全性・安全性を確保するため、2000系車両の大規模改修や1000N系車両更新のための新造車両の製作、土木構造物の改良工事等を実施しました。

この結果、当期の経営状況は、約28億円の純利益を計上しました。

今後とも経営の健全化を推進するとともに、安全で快適な輸送サービスの提供に努めてまいります。

2 事業報告書

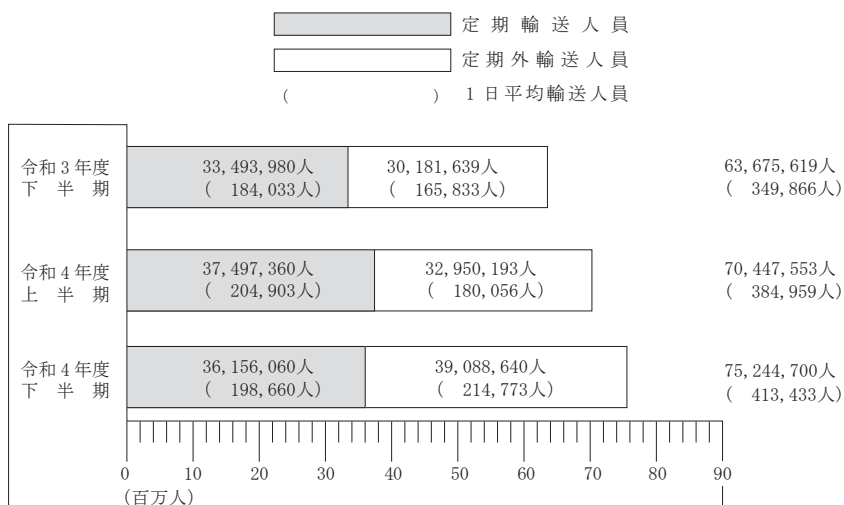
(1) 営業区間及び営業キロ

空港線（1号線）	姪浜	～	福岡空港	13.1キロメートル
箱崎線（2号線）	中洲川端	～	貝塚	4.7キロメートル
七隈線（3号線）	橋本	～	博多	13.6キロメートル
			合計	31.4キロメートル

(2) 在籍車両数

228両

(3) 輸送人員



3 損益計算書（令和4年10月1日から令和5年3月31日まで）

(単位：千円)

区 分	金 額
総 収 益 (A)	16,762,158
営業収益	14,243,625
営業外収益	2,366,743
特別利益	151,790
総 費 用 (B)	13,927,431
営業費用	12,870,143
営業外費用	1,057,288
特別損失	0
差引損益(A)－(B)	2,834,727

4 貸借対照表 (令和5年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	363,960,222	固定負債	206,011,054
流動資産	13,827,589	流動負債	34,553,966
		繰延収益	96,301,856
		資本金	139,010,000
		剰余金	△ 98,089,065
計	377,787,811	計	377,787,811

5 企業債及び一時借入金の現在高 (令和5年3月31日現在)

(1) 企業債の現在高

(単位：百万円)

令和4年度 上半期末現在高	令和4年度下半期		令和4年度末 現在高
	発行額	償還額	
222,921	10,212	13,992	219,141

(2) 一時借入金の現在高

なし

印刷所 松影堂印刷株式会社